

8010～8077 中学校授業料（私立）、高等学校授業料（公立）、高等学校授業料（私立）、 大学授業料（国立）、大学授業料（私立）、短期大学授業料（私立）、専修学校授業料（私立）			
品 目	銘 柄		単 位
8010 中学校授業料（私立）	私立中学校、授業料・入学金	学校別	1 か年 (入学金は1回)
8020 高等学校授業料（公立）	公立高等学校、全日制、普通科、授業料・入学金	学校別	
8030 高等学校授業料（私立）	私立高等学校、全日制、普通科、授業料・入学金	学校別	
8040 大学授業料（国立）	国立大学、昼間部、法文経系／理工系、授業料・入学金	学校別、 課程別	
8060 大学授業料（私立）	私立大学、昼間部、法文経系／理工系、授業料・入学金	学校別、 課程別	
8070 短期大学授業料（私立）	私立短期大学、昼間部、法文経系／家政系、授業料・入学金	学校別、 課程別	
8077 専修学校授業料（私立）	私立専門学校、昼間部、看護学科、修業年限3年、 授業料・入学金	学校別	
価格選定 (1) 銘柄ごとに授業料と入学金を選定する。 (2) 入学金は、当年度に入学した生徒の金額を用いる。 (3) 価格指数の適用地域区分別（調査市町村別又は都道府県別）に学校を所定数選定する。 (4) 就学支援金など、原則、全国一律の授業料減免を、所得区分別に複数選定する。			
指数算出方法 ① 学年数 (n) で単純平均し、学校、課程 (a) 別の授業料及び入学金を算出する。 <授業料> <入学金> $p_{t,a}^{\text{授}} = \frac{\sum_b p_{t,a,b}^{\text{授}}}{n}$ $p_{t,a}^{\text{入}} = \frac{p_{t,a,b=1}^{\text{入}}}{n}$ <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 400px;"> t : 比較時、0 : 基準時 a : 学校、課程 b : 学年 c : 所得区分 </div> ② 授業料と入学金を合算し、学校、課程別の平均価格を算出する。 $p_{t,a} = p_{t,a}^{\text{授}} + p_{t,a}^{\text{入}}$ ③ 学校、課程別の在籍人員 (q) を用いて加重平均し、さらに所得区分 (c) 別の世帯割合 (w) を用いて加重平均した控除額を差し引くことで、価格指数の適用地域区分別の平均価格を算出する。 $P_t = \frac{\sum_a p_{t,a} q_{0,a}}{\sum_a q_{0,a}} - \frac{\sum_c p_{t,c}^{\text{控除}} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}$ ④ 基準時価格で除して、価格指数の適用地域区分別の品目別価格指数を算出する。 $I_t = \frac{P_t}{P_0} \times 100$			
価格指数の適用 中学校授業料（私立）、高等学校授業料（公立）、高等学校授業料（私立）は、調査市町村別に適用する。 大学授業料（国立）、大学授業料（私立）、短期大学授業料（私立）、専修学校授業料（私立）は、都道府県内一律に適用する。			